

スキルグループ AI 基本方針

はじめに

スキルグループは、AI 技術の活用を通じて、お客さまへの価値提供の高度化と業務の進化を図り、社会課題の解決に貢献してまいります。

AI は、新たな創造性や柔軟な価値提供を可能にし、これまでにない課題解決やサービス革新を実現する力を持っています。私たちは、この可能性を積極的に活かし、お客さまや社会にとって有益な価値を生み出していくことを目指します。

一方で、AI の活用には、誤情報、偏り、権利侵害、プライバシー、セキュリティ、説明責任など、倫理的・社会的・法的な課題やリスクも伴います。

私たちは、こうした課題に真摯に向き合い、人間の尊厳と権利を尊重しながら、安心・安全で信頼される AI 活用の実現に努めます。

本方針は、スキルグループが AI を活用するにあたり大切に考える考え方と基本姿勢を明らかにし、お客さま、お取引先、社会との透明性ある対話と信頼関係の構築を目的として定めるものです。

1. 目的

本方針は、グループ各社の知見、技術、事業基盤を結集し、AI を活用した価値創造と社会課題の解決を推進するための基本的な考え方を示すものです。

私たちは、AI を持続可能な社会の発展やお客さまの価値創造に役立てるとともに、その活用に伴うリスクにも丁寧に向き合い、安心して選んでいただけるサービスおよび業務環境の整備を目指します。

また、本方針の実効性を高めるため、関係部門が連携し、継続的な見直しと改善を行う体制を維持するとともに、法令、ガイドライン、契約その他の関連ルールを遵守し、適切に AI を活用します。

2. 適用範囲

本方針は、スキルグループが関与するプロジェクトおよび日常業務における AI の活用全般に適用します。

対象には、以下を含みます。

- ・コンサルティング
- ・企画、調査
- ・戦略立案
- ・業務、サービスデザイン
- ・システム開発
- ・運用・保守
- ・データ分析
- ・顧客サポート
- ・社内業務の高度化・効率化

また、私たちは、自社の活用にとどまらず、業界における適正な AI 活用基準の整備や、信頼性の高い AI 利用の普及にも貢献してまいります。

なお、本方針における「AI」には、自然言語処理、画像生成、音声処理、予測・分析等を行う技術に加え、生成 AI を含みます。生成 AI については、出力の不確実性や著作権・権利処理など、特有の留意事項があることを踏

まえて取り扱います。

3. 人間中心と責任ある利用

私たちは、AI を人の判断や創造性を支援するための技術として位置づけます。

AI は意思決定を補助する手段であり、最終的な判断およびその説明責任は常に人が負います。

特に、業務・社会・お客さまへの影響が大きい領域においては、人による確認、評価、承認を重視し、過度な自動化や AI への過信に依存しない運用を徹底します。

また、AI の導入・利用にあたっては、利用目的の妥当性や期待される効果だけでなく、潜在的な不利益や影響についてもあらかじめ検討し、人間中心の視点から適切な運用を行います。

4. 安全性・品質の確保

AI、特に生成 AI は有用である一方で、誤り、不正確な推論、不適切な表現、偏った出力等を生じる可能性があります。そのため、AI の出力を鵜呑みにせず、利用目的との適合性、妥当性、根拠の確認を人が行うことを基本とします。

また、AI の導入・運用に際しては、以下の観点を重視します。

- ・ 想定される利用目的、利用範囲の明確化
- ・ 想定外の挙動や誤用を防ぐための設計、運用上の対策
- ・ モデル更新や設定変更が品質や結果に与える影響の確認
- ・ 継続的なモニタリングと定期的なレビュー

生成 AI など、出力物を生成する AI 技術の利用にあたっては、知的財産権、ライセンス条件、利用規約等を確認し、第三者の権利を侵害しないよう十分に留意します。

さらに、AI モデルや関連サービスの選定においては、学習データの正当性、提供事業者の信頼性、透明性、安全性、倫理面への配慮を確認したうえで、利用目的に適した技術を採用します。

5. 公平性・倫理への配慮

私たちは、AI の利用において、人間の尊厳、多様性、公平性を尊重します。

AI の出力や判断が、特定の個人、属性、立場に対して不当な差別や不利益を生まないよう配慮します。

また、AI の活用にあたっては、社会的影響や倫理的観点を踏まえ、単なる効率性や利便性だけでなく、「その利用が適切か」「誰かを不当に傷つけないか」という観点からも検討を行います。

私たちは、技術の進展に伴う新たな課題にも継続的に向き合い、責任ある AI 活用を実践します。

6. 機密情報・プライバシー・権利の保護

私たちは、AI を活用した業務を推進するにあたり、お客さま、お取引先、従業員その他関係者の機密情報、個人情報、業務上の重要情報を適切に保護します。これらの情報は、利用目的の範囲内でのみ取り扱い、法令、契約、社内規程等に基づき適切に管理します。

また、AI の利用に際しては、以下を重視します。

- ・ 機密情報や個人情報の入力・利用に関する適切な統制
- ・ お客さまデータの不適切な二次利用の防止
- ・ 第三者によるモデル学習等への利用条件の確認
- ・ AI 出力結果の再利用、保存、共有に関する適切な管理

スキルグループ AI 基本方針

プライバシーと権利の保護は、信頼ある AI 活用の前提であると考え、慎重かつ適正に取り扱います。

7. セキュリティの確保

AI の活用においては、情報セキュリティを重要な基盤と位置づけ、技術的・組織的な安全対策を講じます。
具体的には、以下のような対策を通じて、安全な利用環境の整備に努めます。

- ・適切に管理された実行環境の利用
- ・アクセス権限の制御
- ・データ保管、通信、連携に関する安全性の確保

また、万が一、情報漏えい、誤利用、障害その他の事象が発生した場合には、速やかな初動対応、関係者への連絡、影響の抑制、原因究明、再発防止に取り組めます。

8. 教育・リテラシーの向上

AI を適切に活用するためには、技術そのものだけでなく、それを扱う人の理解と判断が不可欠です。

私たちは、従業員に対して継続的な教育と啓発を行い、AI リテラシーの向上に努めます。

教育においては、以下の観点を重視します。

- ・AI の特性、限界、不確実性の理解
- ・機密保持、プライバシー、権利保護に関する知識
- ・セキュリティやリスク対応に関する基礎知識
- ・AI を業務に適切に組み込むための実践力
- ・倫理的、社会的影響を踏まえた判断力

私たちは、人材の成長を通じて、変化の早い技術環境においても持続的な競争力を確保し、AI を活用した新たな価値創出を社内外でリードしてまいります。

9. 社会的責任と持続可能性

私たちは、AI の活用を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

技術の恩恵が一部に偏ることなく、より多くの人や組織に適切に届く社会を目指します。

また、お客さま、お取引先、社会、その他ステークホルダーからのご質問、ご懸念、ご意見、ご指摘に対しては、誠実かつ迅速に対応し、必要に応じて関係部門や専門家と連携しながら、適切な情報提供と課題解決に努めます。
私たちは、AI を単なる効率化の手段としてではなく、社会に対する責任を伴う技術として捉え、その健全で持続可能な活用を推進してまいります。

10. ガバナンス体制

私たちは、AI の適正かつ持続的な活用を実現するため、組織的なガバナンス体制の整備・運用に努めます。

AI の導入、開発、利用、提供、運用にあたっては、関係部門が連携し、利用目的、対象範囲、影響度、リスク特性に応じた適切な管理を行います。

特に、法的・倫理的・社会的影響が大きい領域においては、必要に応じて事前確認や協議を行い、慎重かつ適切な意思決定のもとで活用を進めます。

また、AI の活用状況、課題、リスクの把握に努め、必要な是正や改善を行うことにより、継続的な統制の実効性向上を図ります。

11. 法令・規範の遵守

スキルグループ AI 基本方針

私たちは、AI の活用にあたり、関連する法令、規制、ガイドライン、契約上の義務、社会的規範を遵守します。具体的には、個人情報保護、知的財産権、機密保持、情報セキュリティ、公正な取引、各種業法その他、AI 活用に関連する法的・社会的要請を踏まえて適切に対応します。

また、AI を取り巻く制度やルールは今後も変化していくことを踏まえ、最新の動向を注視しながら、必要な見直しと対応を継続して行います。

12. 透明性と説明可能性

私たちは、AI を活用した業務やサービスについて、その利用の趣旨や役割が適切に理解されるよう、可能な範囲で透明性の確保に努めます。

また、AI の活用によって得られた結果や判断については、必要に応じてその根拠や関与の範囲を説明できるよう配慮し、お客さまや関係者に対して誠実な情報提供を行います。

私たちは、AI の利用が見えにくいものにならないよう留意し、信頼に足る説明責任を果たしてまいります。

13. 継続的な見直しと改善

AI 技術およびその活用環境は急速に変化しており、求められる安全性、透明性、説明責任、社会的期待も継続的に変化しています。

そのため、私たちは、本方針および関連する運用ルールについて、技術動向、法令改正、社会的要請、事業環境の変化等を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

また、実際の活用を通じて得られた知見や課題を継続的な改善につなげ、より信頼性が高く、実効性のある AI 活用の実現に努めます。

おわりに

スキルグループは、AI の可能性を積極的に活かしながら、そのリスクと責任にも真摯に向き合い、信頼される AI 活用を通じて、お客さまおよび社会に新たな価値を提供してまいります。

制定日：2026年5月22日
スキルグループ 情報管理委員会